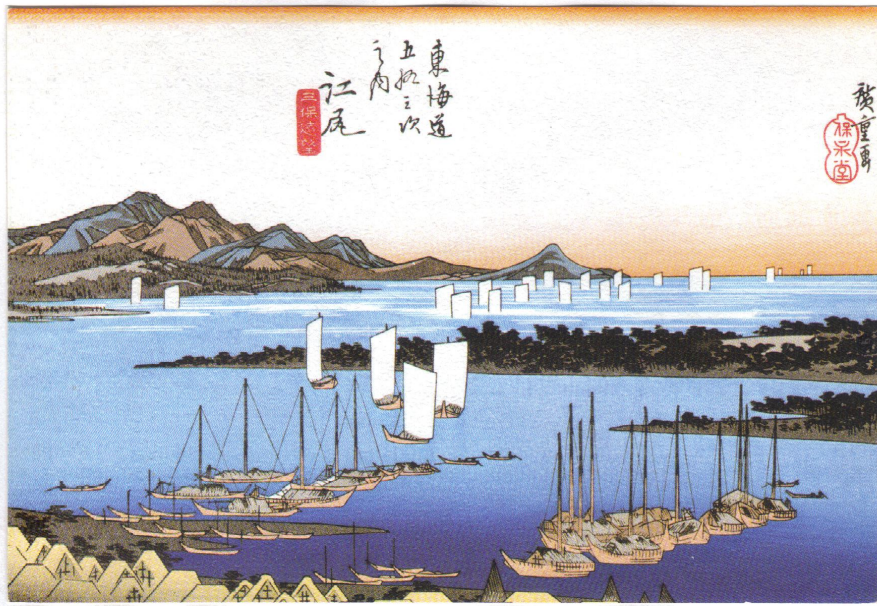


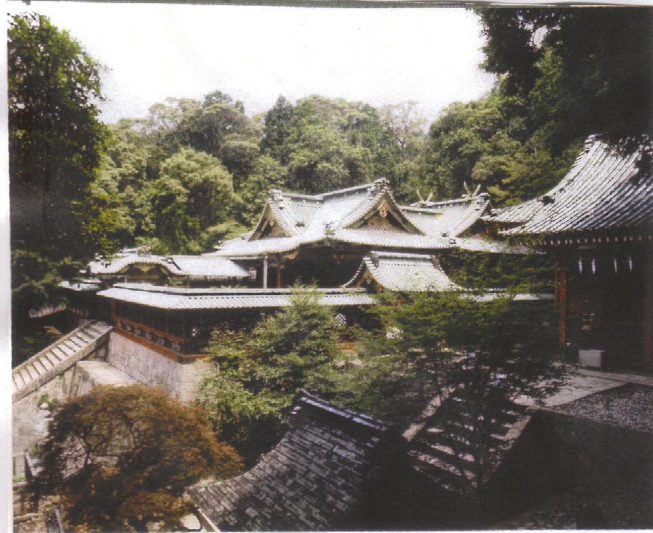


東海道五十三次

江尻
江尻の宿は、現在の清水市
江尻のあたりから、丁度清水
駅前の清水銀座をぬり、色川
にかかると、権見橋をわたると、
江尻にいたる界隈だった。



江尻といえは、港町清水の次郎長
頼分の本拠である。東海道から少
しはずれるが、次郎長ゆかりの
史跡や三保、松原、久能山など見
ごたえのある場所もこの地はら
と、観光気分でもめくそめたい。



久能山・鉄舟寺
鉄舟寺は古くは久能寺、日本平の一部にあり、交通
といいま徳川家康の軍奉行の要衝である。
東照宮のある久能山にあつた五九のちちこつと
つた。平安鎌倉期には公家もあつた。石段を上ると山
家たちの信仰も篤く、いへるを觀察してみても、
繁栄していたか、戦国時代より険険で神社とい
代に武田信玄が久能山によりむしう山城である
城砦を築いたため、清水にこがわかる。
ゆいり道をもさぐり台地

名物のうまいもの
追分羊羹 久能山のいちご、黒はんぺん